

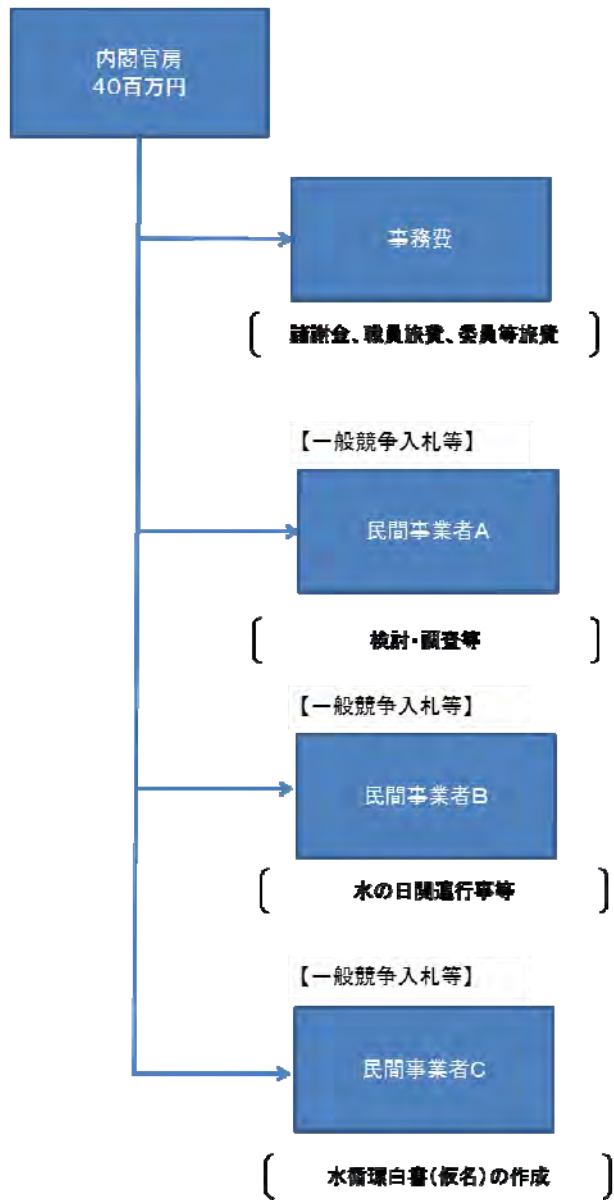
平成27年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	水循環推進経費			担当部局庁	内閣官房副長官補			作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	水循環政策本部事務局			内閣参事官 廣木謙三	
会計区分	一般会計			政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	水循環基本法			関係する計画、 通知等	「経済財政運営と改革の基本方針2014」(平成26年6月24日閣議決定)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程以内)	水循環に関する施策を総合的かつ一体的に推進し、もって健全な水循環を維持又は回復させ、我が国の経済社会の健全な発展及び国民生活の安定向上に寄与することを目的とする。								
事業概要 (5行程以内。別添可)	①「水循環基本法」に基づく、水循環基本計画(平成27年夏までのできる限り早い時期までに閣議決定予定。)の施策を推進するにあたり、効率的・効果的な連携・役割分担、具体的な推進方策、課題等を検討するための経費。 ②「水の日」にふさわしい事業を実施するための経費。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	40			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	0		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	40	0		
	執行額	-	-	-	-				
	執行率 (%)	-	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標 が設定でき ない理由 及び定 量的な成 果目標	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績				
		計画策定のための経費、計画の推進に向けた課題等を検討するための経費であり、定量的な目標及び成果実績を定めることは、現時点では困難である。			【成果目標】 ・基本計画の施策推進にあたっての課題が適切に検討、解決される。 (H26年度より実施) 【達成状況・実績】 (H26年度より実施)				
	事業の 妥当性 を検証 する ための 代替 的 な 達成 目標 及び 実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
		-	-	実績	-	-	-	-	
活動指標 及び活 動実績 (アウト プット)	活動指標	・検討及び調査の実施件数		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
			活動実績	-	-	-	-		
			当初見込み	-	-	-	-		
単位当 たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	検討及び調査に必要な経費/検討及び調査の実施件数			単位当たり コスト	-	-	-	-	
				計算式	/	-	-	40百万円/〇件	
平成 27・ 28 年度 予算 内 訳 (単 位: 百 万 円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.3		予算額は百間年単位であり、四捨五入の関係で「0」の表示となる。					
	職員旅費	0.3							
	委員等旅費	0.9							
	庁費	38							
	計	39.5	0						

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	水循環基本法に基づく、水循環基本計画により、地方公共団体が行う流域水循環計画などの施策を国が後押しする必要はある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果				
	改善の方向性	事業の実施にあたっては効率的な予算の執行に努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					

支出先上位10者リスト

A.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

チェック